

# 定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和元年7月17日（水）に開催されました。

## 1 決裁事項

- ・ 6月議会審議結果について
- ・ 迷惑防止条例施行規則の一部を改正する規則について
- ・ 横手・湯沢自動車学校の行政処分に向けた推進状況について
- ・ 特定秘密の保有、保護措置及び適正評価の実施状況について
- ・ 援助要求について

## 2 報告事項

### (1) 警察職員の職務執行等に対する感謝事例について

県警察から、警察職員の職務執行等に対する感謝事例に関する報告があった。

平成31年4月及び令和元年5月から6月までの間、警察活動に対して県民等から寄せられた感謝事例が11件あり、その内訳は、「生活安全警察活動」5件、「交通警察活動」6件である。

内容は、「外国人従業員に対する交通安全教室への礼状」、「交通安全教室に対する小学校からの礼状」等である旨の報告があった。

委員から、『感謝の手紙は、仕事に対する評価であり、警察官個人への評価でもある。励みになると思うので他の職員にも是非伝えていただきたい。今後も丁寧に親身な対応をお願いします。』との発言があった。

### (2) 県警察による総合監察及び随時監察の実施結果について

県警察から、県警察による総合監察及び随時監察の実施結果に関する報告があった。

令和元年度第1四半期に実施した関係所属に対する警務部、生活安全部、警備部の総合監察の実施結果については、指導事項はなかった。また、交番・駐在所等に対する随時監察の実施結果については、指導事項が2件あった旨の報告があった。

委員から、『高い評価を受けている教養の在り方は効果的なものだと思う。琴線に

触れる形で教養することができるかが大切である。』『監察自体がマンネリ化しないように、工夫してやっていただきたい。』との発言があった。

(3) 令和元年上半期の県内における自殺者について

県警察から、令和元年上半期の県内における自殺者に関する報告があった。

令和元年上半期の自殺者は106人と、前年より6人増加した。

特徴として、年齢別では80代が20人と最も多く、次いで70代の18人、60代の17人、40代の16人となっている。

原因・動機別では、健康問題が44件（38%）と最も多くなっているが、原因不詳のケースが40件（34%）と割合が高くなっている。

職業別では無職者（学生を含む）が70人で、全体に占める割合が66%と最も多く、次いで被雇用者・勤め人が25人（24%）となっている。

委員から、『関係機関と連携し、歯止めできることがあれば、警察でも積極的にやっていただきたい。』との発言があった。

(4) 平成30年中の山岳遭難発生状況について

県警察から、平成30年中の山岳遭難発生状況に関する報告があった。

平成30年中の県内における山岳遭難発生状況は、前年より発生件数は1件、負傷者は1人減少したが、死者は1人、行方不明者と無事救助者が2人ずつ増加した。

遭難者の目的別でみると、山菜採り等が43人と最も多く、遭難者全体の約8割を占めている。

山岳遭難防止対策として広報活動の更なる推進、登山計画書届出の推奨を行う。

委員から、『不測の事態が発生した時に登山届が出ているかどうか迅速な対応の要因になることから、自治体との連携も大切である。』『秋のきのこ採りもあるので、是非注意喚起をお願いしたい。』との発言があった。

(5) 令和元年上半期の交通事故発生状況について

県警察から、令和元年上半期の交通事故発生状況に関する報告があった。

6月中の交通事故発生状況は、発生件数130件、死者数は4人、負傷者数156人と、前年同期より発生件数は3件、負傷者数は14人増加したが、死者数は3人減少した。

上半期の交通事故発生状況は、発生件数749件、死者数は16人、負傷者数903人と、前年同期より発生件数は117件、死者数は3人、負傷者数は117人減少した。

委員から、『歩行者ファーストの徹底について、しっかりと広報をしてもらい、交通事故防止に努めていただきたい。』との発言があった。

(6) 第49回白バイ安全運転競技大会の実施について

県警察から、第49回白バイ安全運転競技大会の実施に関する報告があった。

令和元年7月23日（火）、旧秋田空港跡地等において、白バイ乗務員の安全運転技能の向上により受傷事故の絶無を期すとともに、士気の高揚及び交通機動隊員の融和団結を図ることを目的として白バイ安全運転競技大会を実施する旨の報告があった。

委員から、『競技大会は、警察活動について非常に良い広報の場面であり、安全かつ的確な取締りをするためのスキルアップの目的もある。是非、安全運転と技術向上に繋げていただきたい。』との発言があった。

(7) 秋田空港不法侵入事案対応訓練の実施について

県警察から、秋田空港不法侵入事案対応訓練の実施に関する報告があった。

令和元年7月25日、秋田空港において、空港制限区域内等における不法侵入事案を想定し、関係機関と連携して不法侵入事案対応訓練を実施する。

委員から、『いざという時のため、色々な形で落ち度のないようにやっていただき、検討結果も生かしていただきたい。』との発言があった。